

住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和8年8月21日（金）19時00分～

開催場所 若狭町役場三方庁舎3階

テーマ	小さな子どもと暮らす若狭町～あったら嬉しいサポートや居場所は？
出席議員	谷川暢一議員、中村美穂議員
参加者数	6 人
課題	■ 遊び場・居場所に関する課題 遊び場について ・パレアはありがたいが三方から遠い。 ・芝生広場や屋外で遊べる場所がない。 ・リブラやびよびよルームなど、室内遊び場の数を増やしてほしい。 ・ルームがなくなると困る。おもちゃだけでも残してほしいと残してもらった ・子育てイベントは三方・上中両方でやってほしい 居場所について ・レピア：県の補助が切れ週3から週1に ・買い物ついでにくる人や移動面で利用する人が多い ・全年齢が元に来る場所、世代間交流の場所。 ・支援団体や運営団体を支援してほしい ■ 保育・教育・出産について ・産後ケアは本当に素晴らしいが予約が取りにくい ・自由保育はケガが多いと聞く、その他の選択肢が少ない ⇒公立、私立で小学校に上がった際に保護者同士の壁がある ⇒幼稚園に通わせたい人もいる ・行政が教育現場に目が向いているのか？ ⇒もっと現場を見てほしい・声を聴いてほしい ・保育園のご飯を出してほしい ■ 住まい・経済面など ・アパートが少ない（子育て世帯はすぐに家を建てられない） ・子育て世帯が住みやすい街づくり ・習い事の選択肢や親子で触れ合うイベントの充実。 ⇒BG などを利用したイベントを企画してほしい ☆ 現状として「選択できない」状況がある。 ☆ 地域ごとの差が大きい（三方・上中） ☆ 閉鎖的、異質さ、財源
意見・方向性等	大人も子供も「選択できる」暮らし。 ・時代に合った周知方法（SNS やデジタルツール等、子育て世代向け） ・「異質」をなくす ・少なくとも三方・上中で1箇所ずつ ・運営したい人の積極的支援

「川、さな子どもと暮らす若狭町
～あたり嬉しいサホーや居場所が～」

結論

大人も子どもも

選択できるくらい

<解決策>

- ・周知方法(子育て世代にあたるもの)
- ・現場をみる 矢張り
- ・異質さをなくす
- ・^川全において三方・上中につなぐ
- ・運営したい人を支援する
(お金 場所)

現状 課題

<現状>

- ・^{課題}選択肢が少ない
(遊び場・保母方針・居場所等)
- ・地域差がある

<原因>

- ① 矢張り機会が少ない
- ② 閉鎖的
- ③ 財源がない

<解決後の未来>

- ・親も子どもと残されない
- ・^{課題}選択肢があると住みたくなる
→人口が増える
- ・運営したい人が運営できると
選択肢が増える